学校通信
北の誇り

第３号
体育祭号
R7. 5.20 発行
文責
神尾進二

滑破笑火戦（カッパエビセン）
～やめられない とまらない 滑中魂～

五月十八日(日)本校運動場において、令和七年度　長崎市立滑石中学校　体育祭が行われました。

今までの滑石中の伝統を破り、火の如く戦い、応援や係活動に取り組み、全員が笑顔で終わろう。

と、全校生徒で決意し、体育祭がスタートしました。

成績発表

総合優勝　赤組
（一－一・二－一・三－一）

行進賞　青組
（一－四・二－三・四・三－三△）

勝利を目指し、頑張った生徒全員に大きな賞賛をお願いします。結果ではなく、**過程の重要性**は、今後の生活にきっと役立つものと期待しています。

紆余曲折！体育祭

天候のためにすんなりいかずさまざまな御心配をかけた体育祭でした。

●天気予報を見ながら、先を見通す力

ベストは無理でも、ベターな方策を選択する事は、今後に必要な力になります。

伝統継承！体育祭

『滑破！』（伝統を打ち破る）と言ったところで、まずは、伝統を知ることが大切でした。

●継割〇〇の重要性

競技ばかりでなく、係活動・練習方法・チームのまとめ方など上級生が下級生に教える場面が多く見られました。一・二年生が、今回継承された内容を、より良いものにしていくことを大いに期待しています。

温厚篤実！体育祭

他のことを思いやり、影ながら努力をし、集団の役に立っている。

●影の働き

たくさんの生徒が頑張っている姿をたくさん見ました。その働きに気付ける人間になって欲しいと思います。また、気付いた時に恩返し、あるいは、恩送り（他の人に恩を施すこと）する人間であって欲しいと切に願っています。

準備アラカルト

十三日（火）全体練習・・行進・開閉会式

十四日（水）総練習・・競技種目

十八日（日）会場設営・・臨機応変の対応

今後が大事!!

「力を身に付ける」ことは、学校ばかりでなく家庭でも十分に果たせると思います。しかし、「身に付けた力を合わせる」また、合わせる過程で苦労し、調整する作業や喜びや悔しさを分かち合う事は家庭では無理だと思います。

今回の体育祭で、大いに頑張りました。生徒の皆さんは、この経験を**何らかの形で活用して**ください。

先の先の先を考える人

生徒の皆さん、今回の体育祭を振り返り考えてみましょう。

天気ばかりでなく、組織編成・係分担・練習計画及び実施・準備・片付けと当日の活動以外に、**どれだけ先を見て、計画を立て、他の生徒と協力し、考えて行動しましたか？**

それぞれの過程で、どれだけ苦労をしましたか？また、あなた自身どれだけ満足いく結果を得ることができましたか？

先の先の先を考える人

これからの社会に一層必要とされる人間である事はまちがいありません。今後のどんな場面でも結構です。少し意識してみてはどうでしょうか。スキルアップにつながる事を大いに期待しています。

お礼（深く感謝！）

天候不順な中、多くの来賓・保護者の皆様の御参観を頂き、深く感謝申し上げます。

また、ＰＴＡ役員の方には駐車場係や広報係、北陽小学校区コミュニティの方にはテント設営など運営上、御支援を頂き、ありがとうございました。

生徒の滑破笑火戦の姿は、いかがでしたでしょうか。今後も今までの伝統（滑石中）を打ち破ろうと、生徒・教師一丸と火のように頑張り（戦い）続け、笑顔で学校生を送ろうと考えております。

保護者・地域の皆様方におかれましては、今後ともよろしくお願いします。